

らくのへ 議会だより

令和8年
5月1日発行

No.128



六戸町議会
ホームページ
QRコード



令和8年度予算2

一般会計予算
予算特別委員会

3月定例会7

条例、補正予算(専決)、人事

一般質問8

町の雇用対策、診療所、墓地について

今回の表紙は町グラウンド・ゴルフ協会のみなさんです。

グラウンド・ゴルフは誰でも手軽に楽しめる生涯スポーツです。
町グラウンド・ゴルフ協会は4月から11月までは総合運動公園、
冬期間は総合体育館で日、月曜日以外は毎日活動しています。
ぜひ一度足を運んでみてはいかがでしょうか。

(撮影日：令和8年4月3日)

一般会計 90億9500万円

当初予算、前年度より17.92%の増

令和8年度の当初予算の新規事業は、国民スポーツ大会事業経費、庁舎トイレ洋式化改修事業、町民バス中央待合所エアコン設置工事などです。

令和8年度一般会計と特別会計の予算の総額は、133億792万円で、前年度より10.9%増です。うち、一般会計は90億9500万円。増額の主な要因は、旧教育施設等解体事業の着手によるものです。

その他、注目事業

町民バス(中型)購入1台

消防団屯所改修工事(七百)

犬落瀬・通目木線街路灯改修工事

各種がん検診業務
※婦人科健診を3日間休日実施

妊婦分娩取扱施設アクセス支援事業

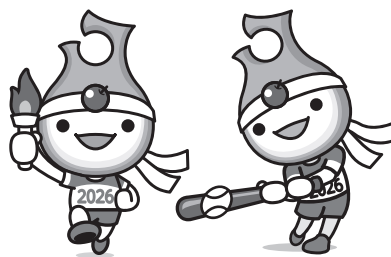
国民スポーツ大会事業経費 5846万円



※写真はイメージです

青の煌めきあおもり国スポ 2026

翔ける未来へ縄文の風に乗って
第80回国民スポーツ大会



開催日：2026年10月11日[日]～13日[火]
六戸町開催競技：軟式野球競技会(成年男子)

旧教育施設等解体事業



鳥獣被害防止総合対策 128万円 有害鳥獣捕獲体制強化事業 56万円



まちの声



鈴木章夫さん
(南町)

あおもり国スポ開催に感謝

49年前のあすなる国体と今回の青の煌めきあおもり国スポを人生で二度迎えられる事に感謝しています。各県から参加される選手の方々とスポーツを通し、交流し、思い出に残る素晴らしい大会になってくれることを願っています。

まちの声



山本ミヨさん
(通目木)

社協のエアコン設置ありがたい

サロンなどの集まりで社会福祉協議会をよく利用しています。夏場はとても暑かったので、エアコン設置はとてもありがたいです。

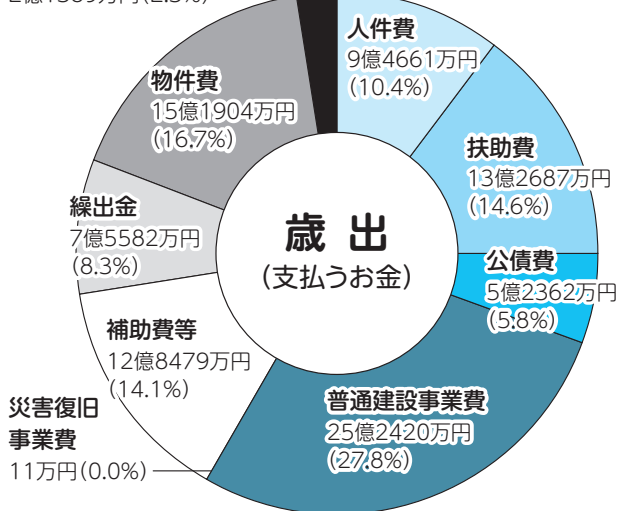


一般会計

90億9500万円の内訳

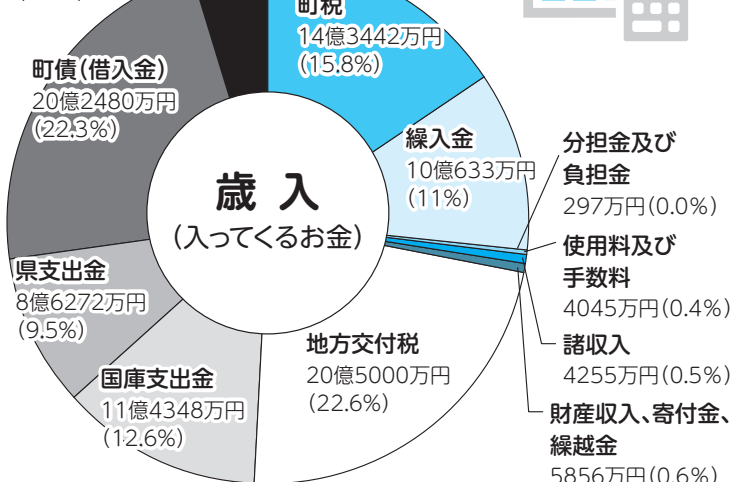
その他(維持補修・積立金・貸付金・投資・予備費)

2億1389万円(2.3%)



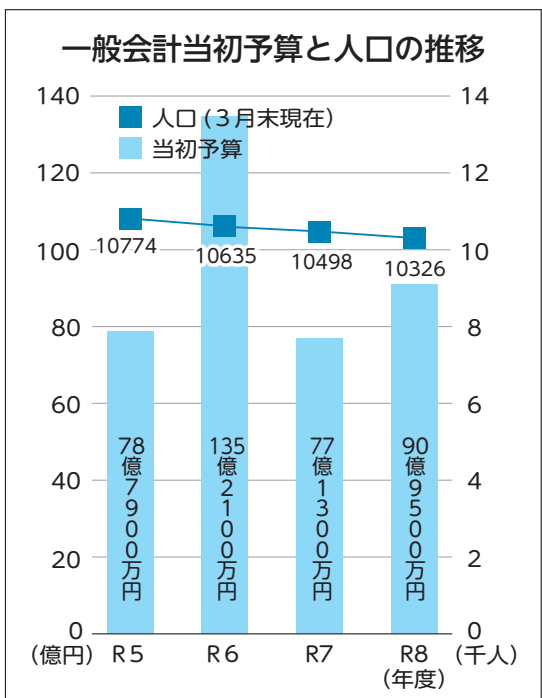
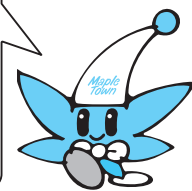
譲与税・交付金

4億2869万円 (4.7%)



財政用語の解説

- 【町税】 町の財政力に応じて国から交付されるお金
- 【国庫・県支出金】 町が行う事業に対して国・県から交付されるお金
- 【町債】 事業の財源に充てるため国などから借りるお金
- 【人件費】 職員の給与や手当
- 【扶助費】 児童手当や医療費助成など
- 【公債費】 事業を行うときに借りたお金の返済金
- 【普通建設事業費】 道路や学校などの建設費
- 【補助費】 補助金や負担金など
- 【物件費】 旅費や消耗品費など



令和8年度 各会計の当初予算額

会計名		当初予算額	前年度比	
一般会計		90億9500万円	13億8200万円	17.92%
特別会計	国民健康保険	12億4275万円	985万円	0.80%
	介護保険	13億8281万円	△4629万円	△3.24%
	後期高齢者療養	2億202万円	3845万円	23.51%
	国民健康保険診療所	3億7663万円	529万円	1.43%
企業会計	下水道事業	10億870万円	△8131万円	△7.46%
合計		133億792万円	13億801万円	10.90%

※企業会計の表記額は、収益的支出と資本的支出の合計額。金額はすべて1万円未満の金額を切り捨てているので、合計額と一致しません。

議会を傍聴しませんか？

定例会では、町民に密接に関係するさまざまな事項が審議されていて、どなたでも傍聴できます。町政への知識を深め、町政を身近に感じるために、議会を傍聴しませんか？
 今回は6月に開催されます。 聞 議会事務局 ☎55-4547



令和8年度

新年度予算の 使い方は？



3月定例会の一般会計、特別会計、企業会計の予算を審査する予算特別委員会(長根一男委員長)が3月3日、4日に開かれ、審査の結果、すべて可決されました。

委員からの質疑を要約してお知らせします。

健全な財政運営を

財政調整基金繰入金	2億8300万円
減債基金繰入金	4億7千万円

問 盛田嘉彦委員

令和8年度の予算編成は、基金を取り崩して予算編成している。繰入額が年々増加しているように感じているが、今後の財政の見通しは。

答 副町長

令和6年度決算で財政調整基金、減債基金の合計は約23億円。今の繰入額で推移すると、令和20年には基金が底をつく可能性があります。職員全体で危機感を持ち、財政状況の改善に努めていきたいと思っております。

町民バスの見直し



町地域公共交通会議負担金
441万円

問 山本実委員

町地域公共交通会議負担金の内容は。

答 企画財政課長

町の地域ニーズに応じた柔軟な交通サービスとなるよう、地域公共交通の関係者と共に地域公共交通計画を作成し、見直しを図ります。

国スポ運営

国民スポーツ大会事業経費 5846万円

問 盛田嘉彦委員

当町の国民スポーツ大会の競技日程は。また、開催時のボランティアスタッフの準備状況は。

答 教育課長

当町では10月11日から13日に軟式野球の大会が開催される予定です。ボランティアは現在10名程度集まっていますが、まだ不足しているため、募集をしていきたいと思っております。

ふるさと納税

ふるさと納税事務経費 委託料 559万円

問 杉山茂夫委員

ふるさと納税支援業務の委託料の内容は。

問 杉山茂夫委員

ふるさと納税寄附金3600万円に対しての、返礼品等の経費は。

答 まちづくり推進課長

町に代わり新たな返礼品の企画開発、ポータルサイトのページ作成業務を民間業者に委託しています。

答 まちづくり推進課長

返礼品30%以内、委託料など事務経費を合わせ計50%以内の1800万円が経費です。

職員の研修に注力を

総務費 旅費 130万円

問 下田敏美委員

職員の育成を考えると、研修費が少ないのでは。

答 総務課長

予算が厳しい部分もありますが、検討していきたいと思っております。

交付金は町民の暮らしへ

令和6年度物価高騰対応重点支援地方
創生臨時交付金返還金 300万円

問 杉山茂夫委員

国からの交付金はできるだけ返還せず、多くの町民の暮らしへ還元をする活用を行ってほしいが、国の方針に対応した交付金の活用ができなかったのか。

答 企画財政課長

返還の対象となった交付金は使途に制約があり、精算した結果、返還となりました。ある程度自由に活用できる交付金については、返還の無いように十分に活用したいと思えます。

投票時間の検討を

県議会議員選挙費 452万円

問 松橋一男委員

期日前投票が定着してきているため、労働時間短縮や経費削減のためにも、投票所閉鎖時刻の繰り上げを検討してみてもいいか。

答 総務課長

町選挙管理委員会でも近年、投票時間が話題に上がっているため、今後検討を始める予定です。

観光協会補助金

観光協会（イベント・観光事業）補助金 442万円
観光協会（ろくのへブランド推進事業）補助金 160万円

問 盛田嘉彦委員

ろくのへブランド推進事業、観光協会補助金など補助額が大幅に減っている。各団体の士気が下がらないように対応を。

答 町長

限られた予算の中で最大限に活動をしていただけるよう、丁寧に説明をしていきたいと思えます。

七百・大曲線柳沢交差点改良工事

工事請負費 1億8915万円

問 山本実委員

七百・大曲線柳沢交差点改良工事の着工と完成の時期は。

答 建設下水道課長

工事の入札は5月上旬の予定で、12月中旬の完成を目指しています。



海洋センター運営費

インストラクター養成研修受講旅費 70万円

問 山本実委員

海洋センター運営費のインストラクター養成研修受講旅費の内容は。

答 教育課長

B&G海洋レクリエーション指導員の資格取得のため、職員1名を1か月間、鹿児島県へ研修に派遣する予定です。

納税貯蓄組合の検討を

納税貯蓄組合奨励金 523万円

問 川村重光委員

現在の納税組合への加入状況は。口座振替やコンビニ納付が普及してきているため、納税貯蓄組合の継続について検討が必要ではないか。

答 税務課長

令和6年度納税組合に加入している世帯は1101世帯、町全体では約22・5%の方が加入しています。

答 町長

全国的に見ると、組合の縮小や廃止傾向のため、近隣市町村の状況などを踏まえ、今後研究していきたいと思えます。

高額療養費の増額

高額療養費 1億716万円

問 高坂茂委員

高額療養費が前年度に比べ約714万円増額の理由は。

答 町民課長
高額療養費は、全国的に増額傾向となっております。原因としては、医療技術の高度化や、

がん等の高額薬剤の保険適用が進み、高額療養費の対象が増加しているためです。そのため、実績は、令和6年度1月当たり約23人が、令和7年10月現在では1月当たり約26・5人と利用の人数は微増となっておりますが、金額は増額となる見込みです。

介護保険料の今後の見込は

問 盛田嘉彦委員

令和9年度に介護保険料の改定があるが、基準額の見込みは。

答 介護高齢課長

令和7年度の事業経過では、基金の取り崩

しを最小限で行える試算ができたため、令和8年度実施予定の第10期介護保険事業計画の中で、介護保険料を少しでも引き下げていくように検討していきたいと思えます。

みんなの食堂ワイもぐ

生活支援体制整備事業 491万円

問 盛田嘉彦委員

六戸町社会福祉協議会に委託し実施した、みんなの食堂ワイもぐの内容は。

答 介護高齢課長

コロナ禍以降、高齢者の孤食が増え、ひきこもり、認知症の増加などがみられました。その予防のために、高齢者が集まり食事をする場の提供を目的に始まった事業です。令和7年度は南町第二町内会、月窓寺の2か所です計4回行いました。参加人数は延べ241名です。令和8年度も事業を継続して行いたいと考えています。

診療所の体制について

国民健康保険診療所事業特別会計 3億7663万円

問 杉山茂夫委員

閉所後の医療職への対応は。

答 総務課長

現在、今後の意向調査を行っています。できるだけ希望に沿った形で対応していきたいと考えています。

問 盛田嘉彦委員

早期退職者が多く出た場合、今の医療体制が維持できない可能性も想定できているのか。

答 診療所事務長

12月定例会後、診療所を閉所することについて、職員全員と面談をしています。途中で多くの方が退職してしまふと、事業が回らない部分もあると思えます。そのような状況にならないように、対応していきたいと考えています。



令和9年3月に閉所予定の診療所



3月 定例会で決まったこと

町鳥獣被害対策実施隊設置 条例制定、補正予算など可決

3月定例会は2月27日から3月5日の7日間で開催されました。専決予算、補正予算、条例制定、人事案件を含む24件の案件が町長から提出され、原案のとおり可決、同意されました。

※写真はイメージです

条例

◆六戸町鳥獣被害対策実施隊設置条例の制定

六戸町鳥獣被害防止計画に基づき、鳥獣による農林水産業等の被害防止のために設置されます。実施隊は、鳥獣被害防止計画に定めた鳥獣（クマ・イノシシなど）の捕獲や緊急対応、被害防止対策の実施主体として位置づけられます。

隊員は町長が任命する者で、特別職の職員で非常勤となります。実施隊の事務局は農政課です。施行期日は令和8年4月1日。

◆六戸町ふれあい昭陽館老朽化のため施設を閉館

六戸町ふれあい昭陽館は老朽化に伴い、施設を閉館するため、設置条例を廃止します。施行期日は令和8年4月1日。

◆六戸町七百地区公民館移転

六戸町七百地区公民館

の老朽化に伴い、施設を取り壊すため、施設機能を旧開知小学校内に移転します。施行期日は令和8年4月1日。

※ほか条例制定等については、11ページをご覧ください。

補正予算（専決）

◆一般会計に1億9256万円を増額

令和7年度一般会計補正予算は、1億9256万円を増額し、予算総額が82億3679万円となりました。

▽生活困窮者に対する灯油購入費助成事業補助 1100万円

▽子ども1人当たり2万円を支給する物価高対応子育て応援手当 3312万円

▽全世帯にごみ袋を支給するためのごみ袋購入費 917万円

▽町民全員に1万1500円分の商品券を支給する地域商品券発行事業

業支援補助金

1億3044万円

質疑

ごみ袋送付

長根一男議員

物価高騰対策支援事業として、ごみ袋を送付するが、ごみ袋料金を地域商品券の金額に上乗せして交付したほうが、配送等経費の削減ができたのではないかと。

副町長

商品券は個人の消費を支えるものとして、ごみ袋は家庭全体を支えるものとして、2つの事業を決めました。

人事案件

◆六戸町教育委員会委員

次の方を教育委員会委員とすることに同意しました。

任期は令和8年3月20日から令和12年3月19日までの4年間で。

▽吉田尚子氏（再任）

広報委員の
ちよつと
ひと休み

米価と納税

私は議員になって7年くらい経っているが、普段は農家のため、一昨年までは天引き分くらい還付されていた。それが、昨年は天引きと同額くらいの徴収。さらに予定納税、町県民税、国民健康保険税、どれも今までに見たことのない金額。本当に支払が大変だった。

米価は高そうだし、来年はこんな思いはしたくないと農機具の発注をしたが、在庫はなく、全て令和8年に納入、NISAは減税になるはずと思ったが、気が付いたのは令和8年。

結局、色々とジタバタしたが何も効果がなく納税額は令和7年の3倍強。私には賢く節税なんて出来るはずもなく、国県町の財政に少しいるが貢献できているのではないかと感えている。松橋 一男



石油(原油)トピックス

原油を加熱して分留すると、LPG・ガソリン・ナフサ(プラスチック原料)・ジェット燃料油・灯油・軽油・A重油・B重油・C重油(電力用)・残りがアスファルトとなります。



産業民生常任委員会 代表質問
ながね かずお
長根 一男 議員

鳥獣被害防止対策は

町鳥獣被害対策実施隊を設置 — 町長

問 当町の野生鳥獣の被害の状況は。また、被害防止対策の考えは。

町長 今年度のクマやイノシシ等の野生鳥獣被害は、稲作被害が1件、果樹被害1件。被害防止対策については、町クマ類捕獲等対策計画を作成し、ホームページで公表しています。

問 町猟友会の現在の活動状況は。

町長 今年度はクマ・イノシシ・シカ畏設置を行い、クマ等の捕獲はありませんでした。

アライグマ等小動物畏も設置し9頭捕獲。出勤人数は延べ143人。この出勤に対し、報償費を支払っています。



※写真はイメージです

います。来年度から町猟友会に加入し、町猟友会の推薦を受けた者で、銃猟又はわな猟の狩猟免許を所持している方を町鳥獣被害対策実施隊として任命する条例を制定する予定です。

農政課長

猟友会出勤時の報償費は、来年度、国、県の補助事業を活用し実施する予定です。

町の雇用対策は

企業誘致の促進を実施 — 町長

問 金矢工業団地への企業誘致の状況は。また、雇用の安定的な確保のための取り組みは。

町長 金矢工業団地では、現在11社が操業し、令和8年度に3社創業予定となっております。町内への企業誘致を図るため、県と協力し、金矢工業団地のP

Rに努めています。現在ある企業立地奨励金、立地企業雇用奨励事業補助金を活用し、雇用の裾野を拡大する施策を継続していきたく考えています。

問 県道22号三沢七戸線改良工事の進捗状況は。

町長 県が公表している道路の整備に関する

問 上北自動車道路から金矢工業団地へのアクセス道路が必要と考えるが、県との協議状況は。

町長 青森地区道路関係4協議会意見交換会と知事との意見交換会で、道路整備を要望しました。今後も県に対し、要望していきたく考えています。

プログラムでは、令和14年度までの完了を目指しています。

幸福度ランキング1位を目指した取り組みは

第5次六戸町総合振興計画に沿って行う — 町長

問 令和8年度も街の幸福度ランキング1位を目指すため、具体的な施策は。

町長 幸福度ランキング1位の結果は、あくまで民間企業のアンケート結果です。それを旨として施策を組み立てているわけ

ではありません。しかし、昨今、幸福度が重要であると注目されています。第5次六戸町総合振興計画後期基本計画では、計画全体を通し、だれもが等しく幸福を感じられることを念頭においた施策にしていきます。

問 ふるさと納税の寄附金は、自治体が柔軟に使用することができるため、当町においても力を入れて取り組む価値は高いのでは。

町長 当町でも重要な課題であるため、まちづくり推進課を中心に取り組んでいきたく思います。



やまもと みのる 山本 実 議員

町の今後の医療継続は

安心して医療を受ける環境を構築 — 町長

問 診療所の閉所の方針に変更はないか。

町長 これまでの方針と変わらず令和9年3月閉所として進めています。

問 診療所が閉所となる

と、受診している患者の方々への影響は大きいと思う。患者に対して不安解消の具体的な体制、通院支援策などの対応は。

町長 町内の介護事業所や、診療所受診患者に対し、チラシ配布で周知し、他院への紹介を希望する方へ、相談を受けることにしています。

問 町民が安心して医療を受ける体制の基本方針と具体策は。

町長 町民が安心して医療を受ける体制の基本方針と具体策は。

町長 地域住民の健康を支える、地域に根ざした総合的・継続的な医療サービスの提供、地域住民の生活を支える在宅医療ケアの提供、地域介護施設等との連携をはじめとした連携。この実現に向けて、町として支援を行い、安心して医療を受けられる環境を構築できるよう、努力していきます。

問 現在の施設や医療機器を医療法人などへ無償貸与するなど、民間活用による医療継続の可能性を検討しては。

町長 診療所事業を引き受ける医療機関からみても、現在の建物を含め、既存の医療機器を使用することは、大変有利であるものと思います。今後、施設や医療機器の活用についても、調整していきたいと思っています。

問 子どもの家庭センターの組織体制や設置する時期は。

町長 組織体制は、廃校を含めた既存の施設利用を検討しており、専門職の配置は、保健師、社会福祉士、支援員などを想定しています。

問 関係各課が連携できる体制の構築は。

町長 母子保健・児童福祉の両機能を一体的に実施する予定です。要保護児童※対策地域協議会などの会議を通じ、各関係機関との連携を強めていきます。

問 周知活動をどのように展開するのか。

町長 設置場所などの周知も含め、保育施設や学校など関係機関へのチラシ等の配布のほか、ホームページや町広報などを利用し、妊娠・出産・育児について総合的に相談できるようなことを、認識できるように、周知活動を進めていきます。

子ども家庭センターの設置は

令和9年4月を想定 — 町長

問 子どもの家庭センターの組織体制や設置する時期は。

町長 組織体制は、廃校を含めた既存の施設利用を検討しており、専門職の配置は、保健師、社会福祉士、支援員などを想定しています。

問 関係各課が連携できる体制の構築は。

町長 母子保健・児童福祉の両機能を一体的に実施する予定です。要保護児童※対策地域協議会などの会議を通じ、各関係機関との連携を強めていきます。

問 周知活動をどのように展開するのか。

町長 設置場所などの周知も含め、保育施設や学校など関係機関へのチラシ等の配布のほか、ホームページや町広報などを利用し、妊娠・出産・育児について総合的に相談できるようなことを、認識できるように、周知活動を進めていきます。

※ 子ども家庭センター
妊娠・出産・子育て期までの相談や支援を一体的に行う総合窓口

※ 要保護児童
保護者がいない、または保護者に監督・保護させておくことが不適当だと認められる児童



※写真はイメージです



まつむら えいこ
松村 英子 議員

町営の永代供養墓※1の設置を

町は宗教的活動ができないため設置できない — 町長

問

高齢化が進み、自分の家の墓をどうしたら良いのか、そういった声が多く聞かれています。永代供養をする町営の共同墓地設置の考えは。

町長

町は宗教的活動ができないため、永代供養のできる共同墓地の設置はできません。

しかし、墓地の管理が難しい高齢者世帯や、墓の役割が変化していることは、町としても認識しているため、町が宗教的活動を行わない形の合葬墓※2については、設置している自治体もあるため、必要性など研究していきたいと思えます。

問

墓地について相談ができる窓口を町に設置してはどうか

町長

まずはお寺へ相談してからになると思いますが、相談があれば対応していきたいと思えます。

※1 永代供養墓

遺族の代わりに墓地の管理者が遺骨を管理・供養するお墓

※2 合葬墓

複数の遺骨をひとつの墓にまとめて埋葬・供養するお墓

2歳児までの保育料無償化の時期は

令和8年度から実施 — 町長

問

当町の3歳児から5歳児までの副食費※の無償化は可能か。また、徴収額の内訳は。

町長

現在、町では第3子以降の児童の副食費は減免をしています。全ての3歳から5歳児の副食費の無償化は、財源確保が難しいため、現時点では無償化は困難ですが、国、県の財政支援等を注視し、検討していきたいと思えます。

福祉課長

現在徴収している対象児童は77名で、徴収額は270万4千円です。

問

県では3歳児までの保育料無償化を推奨するようです。当町の実施時期は。

町長

県の交付金の拡充分を活用し、令和8年度から保育料の無償化を実施します。

※ 副食費

保育施設の給食費のうち、主食以外の、肉、魚、野菜、果物、デザート、お茶などにかかる費用



※写真はイメージです

審議した議案の



第1回定例会(開会日 2月27日)

議案名		採決賛否	審査結果	採決日
令和7年度補正予算(専決処分)	令和7年度六戸町一般会計補正予算(第5号)(1億9256万円を増額補正)		承認	
	令和7年度六戸町一般会計補正予算(第6号)(1118万円を増額補正)			
条例	六戸町ふれあい昭陽館設置条例を廃止する条例(六戸町ふれあい昭陽館の老朽化に伴い、施設を閉館するため、設置条例を廃止する。)		全員賛成	可決
	六戸町公共施設の暴力団排除に関する条例の一部を改正する条例(六戸町ふれあい昭陽館設置条例の廃止に伴い、関連する事項の改正を行う。)			
	六戸町公民館設置条例の一部を改正する条例(六戸町七百地区公民館の老朽化に伴い同公民館を解体するため、施設機能を旧開知小学校内に設置するため、住所の変更を行う。)			
	六戸町乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例(令和8年度から全国で開始される、乳児等通園支援事業において、児童福祉法が改正されたため、乳児等通園支援を行う事業者が、事業を行う際の、満たすべき設備等の基準を新たに定める。)			
	六戸町特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例(令和8年度から全国で開始される、乳児等通園支援事業において、子ども・子育て支援法が改正され、給付費の支給対象事業者が、実施する事業の運営に関する基準を新たに定める。)			
	六戸町ひとり親家庭等医療費給付条例の一部を改正する条例(配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律の一部改正により、法令条項等を改める。)			
	六戸町乳幼児医療費給付条例の一部を改正する条例(子ども・子育て支援法等の一部を改正する法律の施行に伴い、関係政令の整備等及び経過措置に関する政令による児童手当法施行令の一部改正により、所要の改正を行うため改める。)			
	六戸町鳥獣被害対策実施隊の設置に関する条例(六戸町鳥獣被害防止計画に基づく被害防止施策を適正に実施するため、鳥獣による農林水産業等に係る被害の防止のための特別措置に関する法律の規定に基づき、六戸町鳥獣被害対策実施隊を設置するため制定する。)			
	六戸町道路占用料等徴収条例の一部を改正する条例(道路法施行令の一部を改正する政令の公布に伴い、占用物件ごとの、道路占用料の額を改定する。)			
令和7年度補正予算	一般会計補正予算(第7号)(2億665万円を減額補正)			
	国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)(504万円を減額補正)			
	介護保険事業特別会計補正予算(第4号)(281万円を減額補正)			
	後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)(2364万円を増額補正)			
	国民健康保険診療所事業特別会計(第3号)(既定の歳入歳出予算の調整)			
	下水道事業会計補正予算(第3号)(収益的収入183万円減額補正、収益的支出524万円減額補正、資本的収入7778万円減額補正、資本的支出6059万円減額補正)			
令和8年度予算	一般会計予算(90億9500万円。前年度より13億8200万円増)			
	国民健康保険事業特別会計予算(12億4275万円。前年度より985万円増)			
	介護保険事業特別会計予算(13億8281万円。前年度より4629万円減)			
	後期高齢者医療特別会計予算(2億202万円。前年度より3845万円増)			
	国民健康保険診療所事業特別会計予算(3億7663万円。前年度より529万円増)			
	下水道事業会計予算(収益的支出と資本的支出の合計10億870万円。前年度より8131万円減)			
人事	六戸町教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて(吉田尚子氏(折茂)=再任)	全員起立	同意	



Interview



青の煌めきあおもり国民スポーツ大会
相撲競技（成年）青森県監督

まる こ まさ のり
円子政範さん

■プロフィール

長谷出身。旧長谷小学校、旧六戸小・中学校卒、三本木農業高等学校2年のときにインターハイ団体3位。高校3年時には選抜高校相撲十和田大会で個人3位。東京農業大学へ進学し、大学卒業後は臨時講師を2年、その後教職へ。現在は五所川原農林高等学校に勤務。青森県相撲連盟指導部長。1991年生まれ、34歳。趣味はドライブ、ラーメンの食べ歩き。

相撲を始めたきっかけ

旧長谷小学校で3歳上の兄が既に相撲をやっていたので、小学校入学を期に必然的にやることに。最初は、練習というよりは遊びに近かったと思います。相撲のほかに、野球やサッカーもやりました。中学でも相撲はやりましたが、特に目立ってはいませんでした。高校は相撲をやらずに、三本木農業高等学校を選択しました。高校は強い生徒が集まっていたので、嫌にならずに練習ばかりで嫌にならずに過ごしていましたが、相撲を通して、粘り強く頑張ること、目上の人に対する接し方、礼儀を学ぶことのできたので、人間的に成長できたと感じています。指導してくれた方へ感謝しています。

その後はプロも視野に入れ、大学進学を決めました。進学後は怪我をしてしまい、1年間競技が出来ない時期もあり、プ

国スポ監督として

口は締め、指導する立場になりたいと思いい、教員を目指しました。名久井農業高等学校で2年間臨時講師を務め、その後、教員の採用試験に合格し、念願だった教職へ。

私は成年の監督となります。少年の部と違い、

伸びしろが大きい子どもを育てるわけではないので、個々が今持っている能力を最大限に引き出せるような声掛けや、練習の機会をつくってあげるのが務めだと思っています。自分自身、国スポの選手として出場していた経験があるので、それを生かしたいです。

国スポへの思い

今回の国スポは49年ぶりの相撲大会である青森県での開催。勝負に勝ち、相撲のい

いところを県民のみなさんに見せたいのはもちろんですが、選手達は今後相撲の競技人生が続いていきます。ですから、今回の国スポを起点に、相撲競技に少しでも興味をもってもらい、ファンを増やせればと思います。相撲の楽しさを広げるきっかけにしたいと考えています。

相撲競技は十和田市で開催されますので、ぜひお越しく下さい。

取材 盛田嘉彦
松村英子



平成25年度 第48回全日本大会選抜相撲十和田大会にて
(下段中央が円子さん)

編集後記

今回は円子さんにインタビューをさせていただき、本県出身力士の幕内在位記録が143年続いていることを知りました。2位の茨城県が44年を考えるといかに偉大な記録であるかわかります。記録継続を考えたとき、円子さんが今後果たす役割りの大きさも感じました。9月に行われる国スポは様々な競技が各市町村で開催されます。皆さんで応援しましょう。

盛田嘉彦



議会広報委員会

- 委員長 松橋 一男
- 副委員長 松村 英子
- 委員 盛田 嘉彦
- 委員 長根 一彦
- 委員 杉山 茂夫
- 委員 高坂 茂夫
- 発行責任者 下田 敏美
- 議長 下田 敏美